

JOURNAL OF CLASSICAL STUDIES

Editorial Board: H. Takahashi (Chairman), T. Fujii, T. Hyuga, F. Inoue, Y. Kanayama, S. Kawashima, S. Kihara, N. Koike, Y. Kurihara, N. Notomi, R. Takahashi, H. Tanaka, S. Yoshitake

Volume LXXII 2025

CONTENTS

Taisuke Okada: Demos and Imagery of the Navy in Fifth Century BCE Athens (1)
Satoshi Ogihara: Human Reason More or Less Belongs to the Kind of "Cause": An Interpretation of Plato's Philebus, 28c6-31a4 (12)
Yuichiro Habe: Hellenistic Royal Benefaction to the Gymnasium: The Attalids and Greek Cities in Asia Minor (26)
Kyohei Sakeshima: The Meaning of the Plataean Episodes in Plutarch's Life of Aristides (40)
Symposium: Stories and Heroes of the Trojan War
Kyoko Sengoku-Haga: Introduction (53)
Toshihiro Osada: Asylum of Women, Children and Old People. Trojan War in Ancient Greek Art (59)
Noriko Kitami: The Boundary of Heroic Deeds and Cruel Deeds: a Study mainly focused on Quintus Smyrnaeus' Posthomerica Book 13-14 (65)
Shinya Ueno: Heroes of Trojan War in Attic Prose Texts (71)
Yuji Kurihara: Socrates as the Hero of a New Type of Paideia: Wandering with the Heroes of the Trojan War (79)
BOOK REVIEWS: J. Arft, Arete and the Odyssey's Poetics of Interrogation: the Queen and her Question. (A. Kiwada); C. Catenaccio, Monody in Euripides: Character and the Liberation of Form in Late Greek Tragedy. (K. Kobayashi); L. U. Gómez and L. Berger (eds.), Politeness in Ancient Greek and Latin. (G. Hashimoto); S. Roussou and P. Probert, Ancient and Medieval Thought on Greek Enclitics. (T. Matsuura); A. J. Boyle, Seneca Hercules. (T. Miyagi); W. Schmitz, Leges Draconis et Solonis (LegDrSol): eine neue Edition der Gesetze Dracons und Solons mit Übersetzung und historischer Einordnung. (Y. Uchikawa); R. D. Woodard, Divination and Prophecy in the Ancient Greek World. (A. Yamauchi); M. Adak and P. Thonemann, Teos and Abdera: Two Cities in Peace and War. (M. Ito); A. Roy, Empire of Images. Visualizing the Conquered in the Roman Republic. Volume 5 in the series Appearances - Studies in Visual Research. (M. Sakata); S. Wen, Communal Dining in the Roman West: Private Munificence Towards Cities and Associations in the First Three Centuries AD. (M. Banno); G. Greatrex (ed.), Procopius of Caesarea: The Persian Wars: Translation, with Introduction and Notes. G. Greatrex (ed.), Procopius of Caesarea: The Persian Wars: A Historical Commentary. (C. Hu); C. Moore, The Virtue of Agency: Sôphrosunê and Self-Constitution in Classical Greece. (M. Nagao); U. Coope, Freedom and Responsibility in Neoplatonist Thought. (S. Ogihara); R. Chiaradonna and M. Rashed (eds.), Boëthos De Sidon: Exégète D'Aristote Et Philosophe. (Y. Toyoda); P. Golitsis (ed.), Alexander of Aphrodisias, Commentary on Aristotle, Metaphysics (Books I-III): Critical Edition with Introduction and Notes. (C. Nishioka); S. Bobzien, Determinism, Freedom, and Moral Responsibility: Essays in Ancient Philosophy. (I. Park); A. G. Long (ed.), Immortality in Ancient Philosophy. (T. Miura). (89)
Summaries of the Articles (133)
Miscellanies (139)

THE CLASSICAL SOCIETY OF JAPAN

Communications to be addressed to: Prof. S. Kawashima
Faculty of Letters, Kyoto University, Kyoto, 606-8501 Japan
http://clsoc.jp/

ISBN978-4-00-009648-5 C3310 ¥5600E ISSN 0447-9114
定価(本体5600円+税)

西洋古典学研究

LXXII

(二〇二五年)

日本西洋古典学会編

書岩店波

西洋古典学研究 LXXII

日本西洋古典学会編

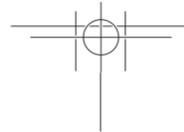
岩波書店



2月17日

Table with 3 columns: 初校, 岩波書店様, 西洋古典学研究 LXXII (72). Rows include table numbers (01), page counts (1頁, 2頁), and publisher info (株精興社).

0020078218 sp



西洋古典学研究 LXXII

岡田泰介：前5世紀アテナイにおける demos と海軍をめぐる観念 ……(1) — 伝クセノフォン『アテナイ人の国制』を中心に —	
荻原理：人間の理性は〈原因〉の類にほぼ属する ……(12) — プラトン『ピレポス』28c6-31a4 解釈 —	
波部雄一郎：ギムナシオンを通じたヘレニズム君主による 恩恵施与慣行 ……(26) — 事例としてのアッタロス朝と小アジアの諸都市 —	
酒嶋恭平：プルタルコス『アリストイデス伝』における プラタイアの位置付け ……(40)	
シンポジウム「トロイア戦争の物語と英雄たち」	
芳賀京子：趣旨説明 ……(53)	
長田年弘：女性、子供、老人の聖域避難 ……(59) — 美術に見るトロイア神話 —	
北見紀子：英雄的行為と残虐行為の境界線 ……(65) — クイントス・スミュルナイオス第13~14巻を中心とした一考察 —	
上野慎也：トロイア戦争の英雄を引く文脈 ……(71) — 古典期アテナーの散文 —	
栗原裕次：新しいパイディアの英雄ソクラテス ……(79) — トロイア戦争の英雄たちとの彷徨 —	
書評：木和田安寿 小林 薫 橋本讓次 松浦高志 宮城徳也 内川勇海 山内暁子 伊藤雅之 坂田道生 坂野美咲 胡 昶 旭 長尾枉輝 荻原理 豊田泰淳 西岡千尋 朴 一 功 三浦太一 ……(89)	
英文要旨 ……(133)	
古典学関係文献目録 ……(139)	
寄贈書・交換雑誌 ……(155)	
日本西洋古典学会第74回大会記その他 ……(157)	

日本西洋古典学会
京都大学文学部西洋古典学研究室

日本西洋古典学会規約

1. 本会は日本西洋古典学会と称する。
2. 本会は事務局を京都市左京区吉田本町京都大学文学部西洋古典学研究室に置く。学会の所在地は事務局の所在地と同一とする。本会の設立年月日を1950年10月22日とする。
3. 本会は日本における西洋古典学の研究と普及に従事し、兼ねて会員相互の研究上の連絡ならびに親睦を図ることを目的とする。
4. 本会は次の事業を行う。
 - (1) 年1回の大会の開催
 - (2) 会誌の刊行
 - (3) 研究資料の蒐集および交換
 - (4) 研究会、講演会等の開催
 - (5) ギリシア語、ラテン語の普及に関する事業
 - (6) 海外学会との連絡
 - (7) 日本学術会議ならびに国内他学会との連絡
 - (8) その他必要な事業
5. 本会は西洋古典学の研究者および斯学に関心を持つ者で、本会の趣旨に賛成し、協力する者をもって会員とする。
6. 会員は次の3種とする。
 - (1) 正会員 会費として年額8000円を前納した者。ただし、所定の手続きにより申請を行い、要件を満たした会員には3000円の減額を認め、年額5000円とする。
 - (2) 賛助会員 寄附その他により、本会に特別の寄与をした者
 - (3) 名誉会員 以上のほか、特別の処遇を必要と認められた者
7. 会員は会誌『西洋古典学研究』の配布を受ける。
8. 本会は次の役員を置く。
 - (1) 委員長 約30名
 - (2) 委員長 1名
 - (3) 常任委員 10名
 - (4) 編集委員 12名
 - (5) 会計監査委員 1名
9. (1) 本会は会務の決定機関として委員会を置く。ただし重要案件については総会の承認を要する。
 - (2) 委員は会員の投票によって選出される。
 - (3) 委員の任期は1期3年とし重任を妨げない。ただし70歳を越えた者は選出されない。
 - (4) 委員会の定足数は全委員の3分の2である。議決に関しては出席者の過半数の賛成を要する。
10. (1) 委員長は本会を代表し、委員会、常任委員会、編集委員会を主宰する。
 - (2) 委員長は委員会において投票により委員の中から選出される。
 - (3) 委員長の任期は1期3年で、連続して3期務めることはできない。ただし期間を以ての多選は可能である。
11. (1) 常任委員会は委員会の意を受けて会務を執行する。
 - (2) 常任委員は委員会において投票により委員の中から選出される。
 - (3) 常任委員の任期は1期3年で、連続して3期務めることはできない。ただし期間を以ての多選は可能である。
12. (1) 編集委員は常任委員会が選出し、委員会の承認を受けるものとする。
 - (2) 編集委員の任期は1期3年で、連続して3期務めることはできない。ただし期間を以ての多選は可能である。
13. 会計監査委員は委員会において委員の中から選出される。
14. 本会は年1回の総会を開く。会計報告は総会にて行う。
15. 本規約は委員会の決定によって変更することができる。ただし総会の承認を要する。

西洋古典学研究 LXXII 2025年3月25日発行 編集・発行 日本西洋古典学会(代表者 高橋宏幸)
発売 岩波書店 印刷 精興社 製本 中永製本 ©日本西洋古典学会 2025
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学部西洋古典学研究室